

## 第4回日本語教育研究集会

日時 2006年8月7日(月)

場所 名古屋大学大学院国際言語文化研究科棟2階 LL22 番教室(控え室:LL24 番教室)

### プログラム

受付開始:9:30~

- 研究発表:10:00~10:30 鈴木智美(東京外国語大学)  
複合助詞「として」の意味・用法再考  
- 日本語研究と日本語教育研究からの包括的記述の試みの一事例として -
- 10:30~11:00 稲葉みどり(愛知教育大学)  
言語発達と物語文の時制  
- 日本語を母語とする子どもの場合 -
- 11:00~11:30 許 夏玲(東京学芸大学)  
接触場面における日本語母語話者と中国人学習者の表現使用について  
- 助言の方法と助言の受け止め方 -
- 11:30~12:00 廖 紋淑(名大院生)  
コーパスを使った局面動詞の研究  
(司会 李 澤熊:名古屋大学留学生センター)

(昼休み)

- 13:00~13:30 名嶋義直(東北大学)  
終助詞ヨとネに関する語用論的考察  
- 手続き的意味の観点から -
- 13:30~14:00 東 会娟(名大院生)  
日本語学習者の縮約形の習得について  
- 「知識」と「運用」の差に注目して -
- 14:00~14:30 木暮律子(信州大学)  
会話における発話権の終了
- 14:30~15:00 呂 雷寧(名大院生)  
日本語の無意志自動詞について - 可能という観点から -  
(司会 許 夏玲:東京学芸大学留学生センター)

(休憩)

- 15:15~15:45 木下りか(大手前大学)  
例示によって示されるもの - ~タリ~タリスル -
- 15:45~16:15 衣川隆生(名古屋大学)  
自己制御学習能力育成を目指したコース運営
- 16:15~16:45 杉村 泰(名古屋大学)  
文法性判断について考える  
- 「言おうと思えば言える」と「実際に使う」と -
- 16:45~17:15 金 春女(名大院生)  
連体修飾表現に関する一考察  
(司会 鈴木智美:東京外国語大学留学生日本語教育センター)